

<p>札幌・都心における市民活動を四季を通じて支える空間創出の必要性</p>	<p>▲積雪寒冷地の弱みとなる冬季間の活動を支える公共的空間が備わっていないため、活動期間が限定的となり、活動主体の収益性並びに事業継続性への不安へとつながる。</p> <p>▲条例に伴う緑化の進展が見込まれる一方で、都心のみどりの将来像や、誘導策は検討段階にあり、官民の一体的な取組を進める上で、都市景観を形成するみどりのあり方が必須。</p> <p>▲Innovation 分野では「公園や広場」「気軽に休める場所」へのニーズが高く75%前後のポイントを示す。</p> <p>▲Es (Energy、Economy) 分野における「まち歩きを楽しめる通り」「魅力的な店舗や場」へのニーズは高く、共に75%強を占める。</p>	<p>積雪寒冷地らしいパブリックライフを享受できる街なかの空間形成の促進の必要性</p>
<p>ワーク・ライフスタイルの多様化への対応の必要性</p>	<p>▲商業・業務集積地である都心における「働く場」としての機能・役割にも変化が生じる可能性がある。</p> <p>▲市民のライフスタイルの変化に即応可能な都心商業のあり方、次代を見据えた商業地の姿の再構築が必要。</p> <p>▲札幌の経済・社会活動を支える生産年齢人口の維持が重要となり、経済活動の中心地たる札幌都心に於いてその受け皿となる活動環境を向上させることが重要となる。</p>	<p>エリア特性を活かした職・住・遊の多様化の受け皿となる土地利用の促進の必要性</p>
<p>建替え更新を適切に誘導する仕組みの必要性</p>	<p>▲今後の開発機運の高まりが複数みられるエリアについては、個の取組ではなく、波及性のあるまちづくりの動きを生み出す上で、地権者の意志疎通・連携意識の醸成を図ることが必要となる。</p> <p>▲大通以南の老朽建築物の密集が見られる中、これらの建替え更新に際して商業地としての一体性、次代の姿を描き、適切な誘導を図るためのステークホルダーと共有するルールが必要となる。</p> <p>▲建築資材を含む建築費の高騰に伴い、開発余力のないステークホルダーの建て控えの懸念。</p> <p>▲地区計画等における誘導にあっては、緩和型の建替え更新を採用しない場合には、誘導機能が適用されず、地権者にとっての合理性優先の土地利用が継承され得る。</p>	<p>官民の連携による開発誘導機能の発揮の必要性</p>
<p>都心における環境負荷低減策の実装化</p>	<p>▲開発機運が高まりつつある中、開発に併せたエネルギーネットワークの構築を自律分散型で実現する上でのオンサイトプラント拠点の形成、全体のネットワーク化、民間のグリーンビルディング化を促進するための手法構築が急がれる。</p> <p>▲温暖化対策としてのエネルギー消費の削減とCO₂排出抑制は急務となる。</p>	<p>アクションプランを背景とした低炭素型まちづくりの促進の必要性</p>

3) 都市活動

①Strength 強み・ポテンシャル

ポイント	各評価・検証において導かれた視点	指標キーワード
まちづくり会社を中心とする自律型まちづくりの進展	○特定エリアにおけるエリアマネジメントの機運は高まりつつあり、特に駅前通、大通については二つのまちづくり会社によるコミットメントの下、エリア主体の地区開発コントロール・誘導に向けた仕組みが構築され、自走可能な開発誘導の仕組みづくりが実現化している。	自律的なストックコントロール・マネジメントの普及促進の可能性
エリア横断的なまちづくりの素地の創出	○エリア横断的なまちづくりの取組として、公共的空間における「プレイスメイキング」の展開に向けたタスクフォースは実装化しつつある。	エリア横断的な空間活用マネジメント主体の構築・連携の可能性
まちづくりの担い手の賦存量の多さ	○全国的なエリアマネジメント機運の高まりの中、札幌都心においては、札幌駅前通、大通の二つのまちづくり会社を有し、特定エリアにおけるまちづくり活動を展開している。 ○上記二つのまちづくり会社に追従する、創成東のまちづくり会社の存在 ○都心に拠点並びに活動フィールドを有するNPOやボランティア等の担い手が多く存在する。 ○草の根まちづくり的なプレイスメイキングや、昨今のコロナ禍中での道路活用等の動きが芽生えつつあり、都市空間の民間主体での活用素地が整いつつある。	担い手のコラボレーションの場や機会の提供によるイノベーションの創発の可能性
都心の職住遊等、活動の多様性を生むポテンシャルの高さ	○通勤・通学後の時間消費の場としての利用頻度は、経年で見ると増加傾向にあり、特に20～30歳代の利用層が確認される。 ○飲食・物販・芸術鑑賞等の機能利用が大半を占める。 ○Es (Energy, Economy) 分野では、都市活動に関連し、「イベントの多さ」「冬季間のイベントの多さ」への評価が高い。 ○Livability 分野における「暮らしやすい」ことへの評価が60%と高い。	都心の有する活動の多様性の強化の可能性

②Weakness 弱み・課題

ポイント	各評価・検証において導かれた視点	指標キーワード
官民の連携による価値観の多様化への対応	<p>△様々なオンラインサービスの普及・高次化に伴い、人々、特に若者の消費価値も所有から利用へとシフトしつつある。</p> <p>△消費行動に係る価値の変化、「シェア文化」の普及等、生活を取り巻く価値観の変化が進展している。</p>	価値観の多様化に対応する都市サービスの具体化・誘導方策の官民連携による構築の必要性
都心における活動の多目的性の獲得	<p>△ライフスタイル支援（文化活動、学習、健康等）のための機能の利用実態が低い。</p> <p>△都心における芸術文化活動の充実に対する評価は低く、その向上に対するニーズが高い。</p> <p>△Innovation 分野では「芸術文化に接する機会」「新たなビジネスの創造」に係る分野への評価が低く、30%強の評価となっている。</p> <p>△Es (Energy、Economy) 分野では「商店街や店舗、企業等の活気を感じる」評価が50%と中間値を示している。</p> <p>△余暇を過ごす場としての都心の利用頻度は月1~2回と、比較的長く、経年で見えた場合で利用頻度が減少傾向にある。</p>	多目的性・まちから受ける多様な刺激を体感できる場や機能の創出・誘導の必要性
主力産業の再生に向けた取組の必要性	<p>△札幌市観光統計データによると、2021年度の来訪者数は352万人。前年度比で17%ほどの回復が見られるものの、コロナ禍以前との比較では63.7%減となっている。</p> <p>△2021年度の外国人宿泊者数は約7,000人。前年度比で22%ほどの回復が見られるものの、コロナ禍以前との比較では99.4%減と甚大な被害を被っている。</p> <p>△コロナ禍の影響によって飲食・物販等、小売・サービス業の事業持続性、従事者の雇用等に係る不安・危機感は依然継続している。</p> <p>△MICEの効果を都心全体に波及させるためのアクションプランが必要となる。</p>	観光産業の復興と都心のストックの最大活用によるブランド力の獲得の必要性
官民連携によるワーカークラスの多様化に資する働く場や機会の提供	<p>△社会動態によって支えられてきた札幌市の人口増加の構造が今後、少子高齢化の進展に伴い、自然減が社会増を上回ることが予想されている。</p> <p>△生産年齢人口に属する女性の労働力率が低いM字カーブを描いていることが特徴とされている。</p> <p>△現状の札幌市における就業構造上の課題である女性の社会参加並びに高齢化社会における高齢者のための就業環境の整備は官民連携から進めるべき重要な課題。</p>	官民連携による働き手の多様化を支える就業環境創出の必要性
都心における包括的なマネジメントの必要性	<p>△エリアマネジメント団体であるまちづくり会社がエリアの面的なまちづくりを進めるため、まちづくりルールの策定・運用を通じて開発の適切な誘導を行うなど、面的なまちづくりにおけるマネジメントの重要性顕在化している。</p> <p>△既存のまちづくり会社等が所掌するエリア内ではこれらの取組が成功例として顕在しているが、今後の建替え更新の活性化に際して、上記の組織がカバーしえないエリアにおける誘導の仕組みが必要となる。</p> <p>△これを民間コンサルタントに委ねるのみでは、都心まちづくりとして包括的にエリアに応じた役割・必要な機能を実現化するためのマネジメントを進めることが難しく、都心を俯瞰的に観測し、都心まちづくり計画の実現化のためのマネジメントを執り行う仕組みが必要となる。</p>	官民連携による包括的都心マネジメントの実現の必要性

③Opportunity 好機

ポイント	各評価・検証において導かれた視点	指標キーワード
公共空間を活用した居場所づくり活動の台頭	<ul style="list-style-type: none"> ◎コロナ渦中にあり、パブリックスペースにおける活動ニーズ、都心への来街ニーズが高まりを見せていることを踏まえ、吸引力のある都市活動の展開が見込まれる。 ◎ウォークアブル推進に係る政策的な追い風に伴い、沿道利用の文化が生まれる可能性が見込まれる。 ◎エリアマネジメントとの連携による啓もう活動等、人を中心とした空間創出に向けたソフト面のアクションについても、大通を皮切りに芽生えつつある。 	開発機運と政策的追い風を活かした居場所づくりの促進の可能性
まちづくりの担い手の更なる成長可能性	<ul style="list-style-type: none"> ◎創成東地区においては、これまでの公的なまちづくり支援の継続から、担い手となる人材や企業・団体の顔が見えつつあり、さらに進展する開発や東4丁目線の整備を機に具体の活動の加速へと結びつき得る期待感がある。 ◎都心プラットフォームが中核となり、まちづくり活動の担い手のコラボレーションの促進をプロデュースすることで都心に関わるまちづくり主体の増進が加速し得る。 	担い手の成長支援の可能性

④Threat 脅威

ポイント	各評価・検証において導かれた視点	指標キーワード
多様性創出への期待	<ul style="list-style-type: none"> ▲都心における活動の多様性、選択性が損なわれ、消費活動が大半を占めることで、現状の機能分布から活動の場の偏重化がさらに進むことが想定される。 ▲Innovation 分野では「芸術文化、スポーツ」に接する機会等、活動の多様性へのニーズが高く、60%強のポイントを示す。 	魅力・価値の適正な分担の必要性
札幌らしいワークライフバランスの実現に資する都心へのニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ▲都心におけるワークライフバランスの提案・普及促進し、労働生産性の向上と市民の日常の充実の両輪での札幌に暮らし、働く生きがいを高質化していくことが重要となる。 ▲Livability 分野における「職・住の快適さ、利便性」へのニーズは高く60~70%強を占める。 	都心に働く・暮らす価値・ブランドの構築、市場に選ばれるエリアとしての価値向上の必要性
都心の活力向上に対するニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ▲商業集積地としての都心におけるサービス業等の持続可能性、商業地としての都心の社会潮流に即した次代のあり方へと見直し、変容することが求められる時期に来ている。 ▲商業・業務集積地である都心に於いては、労働生産性の向上を支える環境確保のに向けた支援を展開する必要がある。 ▲Innovation 分野では「ビジネス・起業支援」等新たな都市活力の創造へのニーズも高く、60%強のポイントを示す。 ▲Es (Energy, Economy) 分野における商店街、店舗、企業の活気の向上へのニーズは同分野において最も高く80%弱を占める。 ▲Es (Energy, Economy) 分野における「イベント」「冬季のイベント」へのニーズは5~60%を占める。同分野における他の項目と比較すると比較的低調なニーズを示している。 	官民連携による働き方・業態の多様化促進・支援による労働生産性・経済活力の向上の必要性
情報発信に対するニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ▲Management 分野における「情報発信」に係るニーズが高く70%弱のポイントを示す。 	街の情報に触れる機会の創出・高いアクセシビリティの実装の必要性

(2) SWOT 分析による指標案の抽出

①都市基盤

<p>都心が内包する強み・弱み (内部環境)</p>	<p>【Strength 都心の強み】 S-1) 広域交通を中心とした結節性、連絡性の向上の可能性 S-2) 札幌の玄関口としての札幌駅交流拠点の吸引力の発揮の可能性 S-3) 目抜き通りとしての駅前通の持続的成長と南側への効果波及の可能性 S-4) 公共交通の利用利便性の保全・強化の可能性 S-5) 人を中心とした歩行環境の充実・高付加価値化の可能性 S-6) 多様なニーズに応える機能の複合化の可能性 S-7) みどりの拠点となる既存オープンスペースの強化の可能性 S-8) 札幌らしい都市景観の保全・向上の可能性 S-9) 低炭素型まちづくりの推進の可能性 S-10) エネルギーネットワークの強化・拡充の可能性</p>	<p>【Weakness 都心の弱み・課題】 W-1) 人を中心に多様な交通モードの共生する移動環境への改善の必要性 W-2) 官民連携による新たな域内交通システムの定着・高付加価値化の必要性 W-3) 四季を通じて移動の快適性を体感できる歩行環境の確保・拡充の必要性 W-4) 地下ネットワークを構成するバリエーションの多様化の必要性 W-5) 暮らしを支えるみどりの強化の必要性 W-6) 都心商業地のブランド力の回復の必要性 W-7) 新たな観光戦略の構築・実践の必要性 W-8) 市民の安心・信頼を獲得するレジリエンシーの実現の必要性</p>
<p>都心を取り巻く好機・脅威(外部環境)</p> <p>【Opportunity 好機】 O-1) 高次な広域交通拠点の波及効果活用の可能性 O-2) 骨格軸における都市基盤整備の推進の可能性 O-3) ウォークアブルを軸とした分野横断的なまちづくりの展開の可能性 O-4) 既存地下空間ネットワークの重層化促進による回遊性の向上の可能性 O-5) 付加価値の高いみどりの創出の可能性 O-6) エネルギーアクションプランの推進の可能性</p>	<p>【S×O 強みを活かして好機に臨むべき取組】 【S-1.2×O-1】 広域交通結節点を核とする都心域における多様な交通モードの利便性・ネットワーク性の強化・拡充 【S-2×O-2】 広域交通結節点強化を機とした交流拠点の機能・空間の高質化 【S-3×O-2.3】 官民の連携・まちづくり機運の高まりを追い風とする象徴的骨格軸 (駅前通・大通) の強化 【S-4.5.6×O-3】 都心のウォークアビリティの向上を支える歩行空間、公共交通の利便性の向上 【S-5.8×O-5】 居心地のよい居場所づくりに資する公共空間におけるみどりの強化とみどりの連坦による都市景観の創出 【S-5×O-4】 地上地下の歩行環境のポテンシャルを活かしたウォークアブルなまちづくりを支える都市基盤の強化 【S-7×O-5】 札幌・都心の豊かな環境を象徴する大通公園のバリューアップを核とした都心のみどりのまちづくりの展開 【S-9.10×O-6】 エネルギーアクションプランを推進力とする既存ストックを活かした低炭素型まちづくりの展開</p>	<p>【O×W 好機を活かして課題を克服するべき取組】 【O-1×W-1.2】 広域交通結節点を核とする都心域における多様な交通モードの利便性・ネットワーク性の強化・拡充 【O-2.4×W-3.4】 骨格軸を中心とした地上地下の歩行環境のポテンシャルを活かしたウォークアブルなまちづくりを支える都市基盤の強化 【O-3×W-6.7】 ウォークアブルなまちづくりの推進による都心の回遊・消費活動環境の改善・向上 【O-3×W-3.7】 都心域の観光交流・回遊を支える都心の人を中心とする環境・基盤の強化 【O-4×W-4】 地下街、コンコース等の多様な既存地下ストックへの接続可能性の検討と具体化に向けた取組の推進 【O-5×W-5】 都市緑化の促進・グリーンインフラの構築を通じた、居住地の快適性・安全性を支える付加価値の高いみどりの創出 【O-6×W-8】 エネルギーアクションプランを推進力とする、災害に強い都心づくりの展開とエリアの信頼性の獲得</p>
<p>【Threat 直面し得る脅威】 T-1) 既存公共交通ネットワークの維持によるアクセス環境の保全の必要性 T-2) 自動車交通のコントロールによる交通環境の改善の必要性 T-3) ウォークアブルに対応したストックの強化の必要性 T-4) 量的・質のみどりの増進の必要性 T-5) 札幌らしい景観の保全・強化の必要性 T-6) 安全・安心な都心としての信頼性の獲得の必要性</p>	<p>【T×S 強みを活かして脅威に備えるべき取組】 【T-1.2×S-1.4】 公共交通の維持・強化・人を中心とした空間形成を通じた自動車交通の環境改善 【T-3×S-3.5.6】 まちづくり機運、人を中心とした歩行環境の充実等を通じたウォークアブルなまちづくりを支える資源の強化 【T-4.5×S-7.8】 みどりづくりやウォークアブルなまちづくりを通じた札幌らしい都市景観の保全・強化の推進 【T-6×S-9.10】 エネルギーアクションプランを推進力とする、低炭素で災害に強い都心づくりの展開とエリアの信頼性の獲得</p>	<p>【T×W 脅威に備えて課題を克服するべき取組】 【T-1.2×W-1.2】 域内の移手段の多様化・新たな交通システムの導入等を通じた交通環境の改善 【T-3×W-3.4.6】 都心域における歩行者の移動環境の改善、多様化を通じたウォークアブルに対応するストックの強化促進 【T-4.5×W-1.3.5】 みどりづくりやウォークアブルなまちづくりを通じた札幌らしい都市景観の保全・強化の推進 【T-6×W-8】 官民連携による都心のレジリエンシーの向上による市民の安心・信頼を獲得する・ブランド力の強化</p>

②都市空間

<p>都心が内包する強み・弱み（内部環境）</p>	<p>【Strength 都心の強み】 S-1) 建替え動向の高まりによる機能更新の推進・市民ニーズの高まり S-2) 吸引力の高い機能・空間の誘導促進・適正配分の可能性 S-3) 通りと沿道建物の空間的・機能的連携促進の可能性 S-4) 居心地の良い居場所、安心して時間消費できる場づくりの増進の可能性 S-5) 経済活力を支えるビジネス環境強化の促進の可能性 S-6) 都心固有のポテンシャルを活かした活力創出の可能性 S-7) 都心居住の進展の可能性</p>	<p>【Weakness 都心の弱み・課題】 W-1) 骨格軸沿道の民間開発の喚起の必要性 W-2) 都心東西のゲート空間の具現化による回遊・交流の強化の必要性 W-3) 新たな魅力の創造と適正な分担によるエリアの共存の必要性 W-4) 複合用途誘導の奨励による適切な用途バランス確保の必要性 W-5) アフォーダブルな住環境の実現による多様な世代の居住支援の必要性 W-6) 既存ストックの最有効利用による選択肢の多様化と都市景観のメリハリ付けの必要性 W-7) 通りに開かれた沿道機能誘導によるウォーカブルな空間づくりの必要性 W-8) 重層的ネットワークの拡充の必要性 W-9) 都心のみどりの価値づけと共感の獲得の必要性 W-10) エリアごとのプラットフォーム・ラウンドテーブル形成促進の必要性 W-11) エネルギーアクションプランの展開・促進の必要性</p>
<p>都心を取り巻く好機・脅威(外部環境)</p> <p>【Opportunity 好機】 O-1) 骨格構造への肉付け、裏表のメリハリ付けによる回遊の楽しさの演出の可能性 O-2) 都心リニューアルの促進の可能性 O-3) 重層的ネットワークの拡充促進の可能性 O-4) ウォーカブルな都心まちづくりの展開の可能性 O-5) ワーク・ライフスタイルの多様化を支える場づくりの可能性</p>	<p>【S×O 強みを活かして好機に臨むべき取組】 【S-1.2.3×O-1】 都心のメインストリートと中通の個性の違いを活かした適切な機能誘導・連担によるストリートの演出の誘導 【S-1.2×O-2】 建替え更新機運、ニーズを捉えた機能更新の促進と機能・空間の適正配分への誘導 【S-1.3×O-2.3】 建替え更新機運を活かした骨格軸の肉付けに資する重層的ネットワークの拡充 【S-1.3.4×O-4】 ウォーカブルなまちづくりへの期待、全国的な機運、建替え更新機運を追い風にした、実行・波及性の高いエリアにおけるアイレベルへの機能誘導と居心地の良い居場所づくりの計画的展開 【S-5.6×O-5】 ワーク・ライフスタイルの多様化を視野に入れた都心の新たな就業環境の誘導とビジネス支援の展開 【S-7×O-5】 ワーク・ライフスタイルの多様化を視野に入れた都心居住促進</p>	<p>【O×W 好機を活かして課題を克服するべき取組】 【O-1×W-1.2】 沿道の民間開発の喚起による骨格軸における公共投資の価値向上・官民連携の促進・波及効果の可視化 【O-2×W-3.4.5】 リニューアル機運を踏まえた、時間消費、経済的消費の場の偏重化解消に資する機能の適正配分方策の具体化 【O-2×W-5.6.7】 都心におけるワーク・ライフスタイルの多様性、選択性を支えるライフ・ワークステージ/スタイルの多様性の実現方策の検討・実装化 【O-4×W-7.9】 ウォーカブルなまちづくり機運の盛り上がりを追い風とした沿道機能・空間の誘導方策の具体化 【O-1.2×W-8】 建替え更新機運を活かした地下接続・重層的ネットワークの拡充促進誘導 【O-1.2.3×W-10】 骨格軸への公共投資、ウォーカブルなまちづくりへのチャレンジを線的・面的に波及させるためのステークホルダーの意識醸成の場・機会づくり 【O-2×W-11】 更新機運を活かしたエネルギーアクションプランの展開</p>
<p>【Threat 直面し得る脅威】 T-1) 機能偏重の抑制の必要性 T-2) コンパクト+ネットワークの具体化に資する地域交流拠点との機能分担の必要性 T-3) ライフ・ワークステージ/スタイルの多様性の獲得による多様な世代・ライフスタイルを支える住環境の実現の必要性 T-4) 積雪寒冷地らしいパブリックライフを享受できる街なかの空間形成の促進の必要性 T-5) エリア特性を活かした職・住・遊の多様化の受け皿となる土地利用の促進の必要性 T-6) 官民の連携による開発コーディネート機能の発揮の必要性 T-7) エネルギーアクションプランを背景とした低炭素型まちづくりの促進の必要性</p>	<p>【T×S 強みを活かして脅威に備えるべき取組】 【T-1.2.5×S-1.2.5】 札幌駅交流拠点及び周辺エリアへの投資集中・偏重化への懸念に備えた都心の機能誘導・適正配分方策の検討 【T-3×S-1.7】 建替え更新に留まらず、リノベーション等のストック更新手法の推奨によるライフ・ワークステージ/スタイルの多様性の獲得 【T-4×S-1.3.4】 建替え更新による屋内空間や地下接続空間等、積雪寒冷地らしいパブリックライフを支える空間創出 【T-5×S-2.5.6.7】 開発機運や誘導方策を活かした土地利用の適正化方策検討並びに推進 【T-6×S-1.2.3】 開発機運を活かしたエリアとしての一体性の創出と連鎖的更新、機能分担を支援・プロデュースする仕組みの構築 【T-7×S-1】 建替え更新機運の高まりを活かした、LCCM等、低炭素型の建築物誘導の促進</p>	<p>【T×W 脅威に備えて課題を克服するべき取組】 【T-1.5×W-3.4.5.6】 都心における用途バランス、グレードの多様性確保のための方策検討と実装化 【T-2.5×W-3.4】 都心の誘導用途・グレード検討と地域交流拠点との機能・グレード分担の在り方の検討による拠点間バランスの明確化 【T-3×W-5.6】 ライフ・ワークステージ/スタイルの多様性の実現に資する既存ストックの再活用、遊休不動産の活性化・流動化等への支援方策検討・実装化 【T-4×W-7.8.9】 建替え更新による屋内空間や地下接続空間等、積雪関連地らしいパブリックライフを支える空間創出 【T-6×W-10】 都心の多様化強化に資するエリア単位のまちづくり支援 【T-7×W-3.4.11】 都心における用途配分の適正化・複合化によるピークカットの実現等、都市空間の更新機運を活かした低炭素型まちづくりの推進</p>

③都市活動

<p>都心が内包する強み・弱み（内部環境）</p>	<p>【Strength 都心の強み】 S-1) 自律的なストックコントロール・マネジメントの普及促進の可能性 S-2) エリア横断的な空間活用マネジメント主体の構築・連携の可能性 S-3) 担い手のコラボレーションの場や機会の提供によるイノベーションの創発の可能性 S-4) 都心における活動多様性の強化・発展の可能性</p>	<p>【Weakness 都心の弱み・課題】 W-1) 価値観の多様化に対応する都市サービスの具体化・誘導方策の官民連携による構築の必要性 W-2) 多目的性・まちから受ける多様な刺激を体感できる場や機能の創出・誘導の必要性 W-3) 観光産業の復興と都心のストックの最大活用によるブランド力の獲得の必要性 W-4) 官民連携による働き手の多様化を支える就業環境創出の必要性 W-5) 官民連携による包括的都心マネジメントの実現の必要性</p>
<p>都心を取り巻く好機・脅威(外部環境)</p> <p>【Opportunity 好機】 O-1) 開発機運と政策的追い風を活かした居場所づくりの促進の可能性 O-2) 担い手の成長支援の可能性</p>	<p>【S×O 強みを活かして好機に臨むべき取組】 【S-1×O-1】 開発機運を活かしたエリア単位でのまちづくりの促進・支援 【S-1.2×O-1.2】 開発機運やウォークアブル推進機運を活かした活用資源の創出と地域主体のストック活用の促進・支援 【S-1.2.4×O-1.2】 都心各エリアにおける地域主体のまちづくり機運の高まりとエリア特性、市民ニーズとのマッチングによる居場所づくりの促進・支援 【S-3×O-2】 市民の活動ニーズに応えるアクティビティ創出に向けた担い手のスキル・ノウハウのコラボレーションの促進・支援</p>	<p>【O×W 好機を活かして課題を克服するべき取組】 【O-1.2×W-1】 開発を通じた新たな公共空間の創出や市民の新たな価値観に対応するサービス形態の実践に向けた担い手の発掘・連携 【O-1.2×W-2】 開発を通じた場づくりに資する社会実験等、空間体験・コンテンツ体験の場や機会の創出のための活動主体・体制構築 【O-1×W-3.4】 就業支援・ワークスタイルの提案、シティプロモーション等、都心の経済活力の底上げに資する人材やコンテンツの構築に向けた専門家集団等との連携機会・場の構築 【O-1.2×W-5】 エリア単位のまちづくりを俯瞰的に捉え、エリア個性、機能・役割分担等、都心まちづくりとしての一体性・連携可能性を高める仕組みや場の構築</p>
<p>【Threat 直面し得る脅威】 T-1) 魅力・価値の適正なエリア分担の必要性 T-2) 都心に働く・暮らす価値・ブランドの構築、市場に選ばれるエリアとしての価値向上の必要性 T-3) 官民連携による働き方・業態の多様化促進・支援による労働生産性・経済活力の向上の必要性 T-4) 街の情報に触れる機会の創出・高いアクセシビリティの実装の必要性</p>	<p>【T×S 強みを活かして脅威に備えるべき取組】 【T-1×S-1.2】 エリアにおける高質化に向けたマネジメントの促進とエリア個性の差別化に資する空間活用の促進、エリア横断的な連携を通じた適正な役割分担の発揮 【T-2.3×S-3.4】 札幌・都心らしいワーク・ライフスタイル/バランスの実現のための官民連携によるストック形成と普及啓発の促進 【T-4×S-2.3.4】 空間活用、コラボレーションの促進による活力の可視化、市民ニーズの収集・反映等、都心のエリア価値向上に資するアクションを戦略的に構築・推進する仕組みづくり</p>	<p>【T×W 脅威に備えて課題を克服するべき取組】 【T-1×W-1.5】 エリアの既存の魅力・資源を活かした個性の強化とそれに資する新たな都市サービスの誘導による差別化・役割分担の明確化とその実装化のための官民連携の推進 【T-2.3×W-4】 ワークスタイルの多様化を支える就業環境の創出に向けた官民連携による誘導・支援策の構築と実装化 【T-4×W-2.3.5】 空間活用、コラボレーションの促進による活力の可視化、市民ニーズの収集・反映等、都心のエリア価値向上に資するアクションを戦略的に構築・推進する仕組みづくり</p>

(3) 都心まちづくりにおける指標設定の視点

①都市基盤

	SWOT クロス分析項目	指標につながるキーワード	都市基盤に係る都心まちづくりの成長管理のための指標の候補	指標検証のためのバックデータ
【S×O 強みを活かして好機に臨むべき取組】	<ul style="list-style-type: none"> ●広域交通結節点を核とする都心域における多様な交通モードの利便性・ネットワーク性の強化・拡充 ●広域交通結節点強化を機とした交流拠点の機能・空間の高質化 ●官民の連携・まちづくり機運の高まりを追い風とする象徴的骨格軸（駅前通・大通）の強化 ●都心のウォークビリティの向上を支える歩行空間、公共交通の利便性の向上 ●居心地のよい居場所づくりに資する公共空間におけるみどりの強化とみどりの連坦による都市景観の創出 ●地上地下の歩行環境のポテンシャルを活かしたウォークアブルなまちづくりを支える都市基盤の強化 ●札幌・都心の豊かな環境を象徴する大通公園のバリューアップを核とした都心のみどりのまちづくりの展開 ●エネルギーアクションプランを推進力とする既存ストックを活かした低炭素型まちづくりの展開 	<ul style="list-style-type: none"> ●交通モードの利便性・ネットワーク性の強化・拡充 ●交流拠点の機能・空間の高質化 ●象徴的骨格軸（駅前通・大通）の強化 ●ウォークビリティの向上を支える歩行空間、公共交通の利便性の向上 ●居心地のよい居場所づくり ●みどりの強化とみどりの連坦による都市景観の創出 ●地上地下の歩行環境のポテンシャルを活かしたウォークアブルなまちづくり ●大通公園のバリューアップを核とした都心のみどりのまちづくりの展開 ●既存ストックを活かした低炭素型まちづくり 	<p>骨格構造の成熟化 →</p> <p>⇒象徴的骨格軸（駅前通・大通）の強化 ⇒交流拠点の機能・空間の高質化</p> <p>公共交通の利便性 →</p> <p>⇒多様な交通モードの結節性・利便性 ⇒公共交通の維持・強化 ⇒自動車交通の環境改善 ⇒域内の移動手段の多様化</p> <p>都心のウォークビリティ →</p> <p>⇒歩行空間・公共交通の利便性向上 ⇒居心地の良い居場所づくり（公共空間） ⇒地上地下の重層化 ⇒人を中心とした空間形成 ⇒ウォークビリティを支える資源の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●都市基盤整備動向 ●軸沿道更新動向 ●交流拠点における都市開発動向 ●都心への公共交通アクセスネットワーク ●都心域における公共交通・移動サービスの敷設状況 ●自動車交通量・交通飽和度 ●歩道幅員分布 ●該当路線に係る歩行者流動量（滞留量） ●地下歩行ネットワーク分布 ●該当路線の地下接続建物分布 ●公共空間分布動向 ●ほこみち制度等の活用状況
【T×S 強みを活かして脅威に備えるべき取組】	<ul style="list-style-type: none"> ●公共交通の維持・強化・人を中心とした空間形成を通じた自動車交通の環境改善 ●まちづくり機運、人を中心とした歩行環境の充実等を通じたウォークアブルなまちづくりを支える資源の強化 ●みどりづくりやウォークアブルなまちづくりを通じた札幌らしい都市景観の保全・強化の推進 ●エネルギーアクションプランを推進力とする、低炭素で災害に強い都心づくりの展開とエリアの信頼性の獲得 	<ul style="list-style-type: none"> ●公共交通の維持・強化 ●人を中心とした空間形成 ●自動車交通の環境改善 ●ウォークアブルなまちづくりを支える資源強化 ●札幌らしい都市景観の保全・強化 ●低炭素で災害に強い都心づくり 	<p>札幌らしい都市景観 →</p> <p>⇒札幌らしい都市景観の保全・強化 ⇒みどりづくり・ウォークアブルなまちづくりを通じた札幌らしい都市景観の保全・強化</p> <p>カーボンニュートラル →</p> <p>⇒既存ストックを活かした低炭素型まちづくり ⇒低炭素で災害に強い都心づくり</p> <p>レジリエンシー →</p> <p>⇒災害に強い都心づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●軸・拠点に係る緑視率 ●エネルギーネットワーク普及状況 ●オンサイトプラントの整備動向 ●自立型エネルギーネットワークへの接続状況
【O×W 好機を活かして課題を克服するべき取組】	<ul style="list-style-type: none"> ●広域交通結節点を核とする都心域における多様な交通モードの利便性・ネットワーク性の強化・拡充 ●骨格軸を中心とした地上地下の歩行環境のポテンシャルを活かしたウォークアブルなまちづくりを支える都市基盤の強化 ●ウォークアブルなまちづくりの推進による都心の回遊・消費活動環境の改善・向上 ●都心域の観光交流・回遊を支える都心の人を中心とする環境・基盤の強化 ●地下街、コンコース等の多様な既存地下ストックへの接続可能性の検討と具体化に向けた取組の推進 ●都市緑化の促進・グリーンインフラの構築を通じた、居住地の快適性・安全性を支える付加価値の高いみどりの創出 ●エネルギーアクションプランを推進力とする、災害に強い都心づくりの展開とエリアの信頼性の獲得 	<ul style="list-style-type: none"> ●交通モードの利便性・ネットワーク性の強化・拡充 ●地上地下の歩行環境のポテンシャルを活かしたウォークアブルなまちづくり ●都心の回遊・消費活動環境の改善・向上 ●観光交流・回遊を支える、人を中心とする環境・基盤の強化 ●既存地下ストックへの接続可能性 ●居住地の快適性・安全性を支える付加価値の高いみどりの創出 ●災害に強い都心づくりの展開 	<p>札幌らしい都市景観 →</p> <p>⇒札幌らしい都市景観の保全・強化 ⇒みどりづくり・ウォークアブルなまちづくりを通じた札幌らしい都市景観の保全・強化</p> <p>カーボンニュートラル →</p> <p>⇒既存ストックを活かした低炭素型まちづくり ⇒低炭素で災害に強い都心づくり</p> <p>レジリエンシー →</p> <p>⇒災害に強い都心づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●エネルギーネットワーク普及状況 ●オンサイトプラントの整備動向 ●自立型エネルギーネットワークへの接続状況
【T×W 脅威に備えて課題を克服するべき取組】	<ul style="list-style-type: none"> ●域内の移動手段の多様化・新たな交通システムの導入等を通じた交通環境の改善 ●都心域における歩行者の移動環境の改善、多様化を通じたウォークアブルに対応するストックの強化促進 ●みどりづくりやウォークアブルなまちづくりを通じた札幌らしい都市景観の保全・強化の推進 ●官民連携による都心のレジリエンシーの向上による市民の安心・信頼を獲得する・ブランド力の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ●域内の移動手段の多様化・新たな交通システムの導入 ●ウォークアブルに対応するストックの強化促進 ●みどりづくりやウォークアブルなまちづくりを通じた札幌らしい都市景観の保全・強化 ●都心のレジリエンシーの向上 	<p>都市活力の創出基盤 →</p> <p>⇒回遊・消費活動環境の改善・向上 ⇒観光交流・回遊を支える人を中心とする環境・基盤の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●都心活力に係る市民の認識把握 ●市民の都心における消費・回遊行動の把握 ●都心における観光入込・行動の把握 ●都心における交流人口・関係人口数

②都市空間

	SWOT クロス分析項目	指標につながるキーワード	都市基盤に係る都心まちづくりの成長管理のための指標の候補	指標検証のためのバックデータ
【S×O 強みを活かして好機に臨むべき取組】	<ul style="list-style-type: none"> ●メインストリートと中通の個性の違いを活かした適切な機能誘導・連坦によるストリートの演出の誘導 ●建替え更新機運、ニーズを捉えた機能更新の促進と機能・空間の適正配分への誘導 ●建替え更新機運を活かした骨格軸の肉付けに資する重層的ネットワークの拡充 ●ウォーカブルなまちづくりへの期待、全国的な機運、建替え更新機運を追い風にした、実行・波及性の高いエリアにおけるアイレベルへの機能誘導と居心地の良い居場所づくりの計画的展開 ●ワーク・ライフスタイルの多様化を視野に入れた都心の新たな就業環境の誘導とビジネス支援の展開 ●ワーク・ライフスタイルの多様化を視野に入れた都心居住促進 	<ul style="list-style-type: none"> ●都心のメインストリートと中通の個性の違いを活かした適切な機能誘導・連坦によるストリートの演出の誘導 ●機能更新の促進と機能・空間の適正配分への誘導 ●骨格軸の肉付けに資する重層的ネットワークの拡充 ●アイレベルへの機能誘導と居心地の良い居場所づくりの計画的展開 ●都心の新たな就業環境の誘導とビジネス支援の展開 ●都心居住促進 	<p>都心リニューアル</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒機能更新の促進・適正配分 ⇒既存ストックの再活用・遊休不動産の活性化・流動化 ⇒一体性、連坦性を生み出す仕組み <p>公共投資との連動による付加価値の高いストック形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒骨格軸への肉付けに資する重層的ネットワークの拡充 ⇒骨格軸沿道の民間開発喚起による官民連携の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ●建物更新度の測定 ●建物更新履歴分布 ●骨格軸構造に隣接する民間開発・更新のプロット ●地下ネットワークへの接続状況
【T×S 強みを活かして脅威に備えるべき取組】	<ul style="list-style-type: none"> ●札幌駅交流拠点及び周辺への投資集中・偏重化への懸念に備えた都心の機能誘導・適正配分の方策の検討 ●建替え更新に留まらず、リノベーション等のストック更新手法の推奨によるライフ・ワークステージ/スタイルの多様性の獲得 ●建替え更新による屋内空間や地下接続空間等、積雪寒冷地らしいパブリックライフを支える空間創出 ●開発機運や誘導の方策を活かした土地利用の適正化の方策検討並びに推進 ●開発機運を活かしたエリアの一体性の創出と連鎖的更新、機能分担を支援・プロデュースする仕組みの構築 ●建替え更新機運の高まりを活かした、LCCM等、低炭素型の建築物誘導の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ●都心の機能誘導・適正配分の方策の検討（一極集中の回避） ●ストック更新手法の推奨によるライフ・ワークステージ/スタイルの多様性の獲得 ●積雪寒冷地らしいパブリックライフを支える空間創出 ●土地利用の適正化の方策検討並びに推進 ●一体性の創出と連鎖的更新、機能分担を支援・プロデュースする仕組み ●低炭素型の建築物誘導の促進 	<p>適切な用途分布・バランス</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒機能誘導と適正配分の方策 ⇒市民活動のエリア偏重の回避 ⇒土地利用の適正化の方策 ⇒都心と交流拠点の用途バランス 	<ul style="list-style-type: none"> ●土地利用バランス ●土地利用分布 ●市民活動の実態調査
【O×W 好機を活かして課題を克服すべき取組】	<ul style="list-style-type: none"> ●沿道の民間開発の喚起による骨格軸における公共投資の価値向上・官民連携の促進・波及効果の可視化 ●時間消費、経済的消費の場の偏重化解消に資する機能の適正配分の方策の具体化 ●都心のワーク・ライフスタイルの多様性、選択性を支えるライフ・ワークステージ/スタイルの多様性の実現の方策の検討・実装化 ●ウォーカブルなまちづくり機運の盛り上げを追い風とした沿道機能・空間の誘導の方策の具体化 ●建替え更新機運を活かした地下接続・重層的ネットワークの拡充促進誘導 ●骨格軸への公共投資、ウォーカブルなまちづくりへのチャレンジを線的・面的に波及させるためのステークホルダーの意識醸成の場・機会づくり ●更新機運を活かしたエネルギーアクションプラン展開 	<ul style="list-style-type: none"> ●沿道の民間開発の喚起による骨格軸の官民連携促進 ●経済的消費の場の偏重化解消に資する機能の適正配分の方策の具体化 ●ライフ・ワークステージ/スタイルの多様性の実現の方策の検討・実装化 ●沿道機能・空間の誘導の方策の具体化 ●地下接続・重層的ネットワークの拡充誘導 ●ウォーカブルなまちづくりへのチャレンジを線的・面的に波及させるためのステークホルダーの意識醸成の場・機会づくり ●エネルギーアクションプランの展開 	<p>都心のウォーカビリティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒街の表と裏の空間におけるウォーカブルな機能・空間誘導 ⇒アイレベルへの機能誘導と居場所づくりの展開 ⇒積雪寒冷地型の公共空間創出 ⇒沿道機能・空間の空間誘導の方策 ⇒重層的ネットワークの拡充 ⇒ステークホルダー等の連携醸成 <p>ライフ・ワークステージ/スタイルの多様性</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒新たな就業環境の誘導とビジネス支援 ⇒都心居住の促進 ⇒既存ストックの有効活用によるライフ・ワークステージ/スタイルの多様性の獲得 ⇒住宅、業務施設等への身の丈にあった環境の提供 ⇒用途バランス・グレードの多様性確保策 	<ul style="list-style-type: none"> ●主要動線上のウォーカブル推進動向 ●仲通りの利活用履歴 ●建物低層部の用途把握 ●屋内空間の公共空間整備並びに利活用履歴 ●地上地下空間の接続動向 ●公共空間等における活動主体及び属性（ステークホルダー）の把握 ●オフィス賃料・住宅販売価格動向 ●オフィス賃料・住宅販売価格帯分布 ●都心居住動向（人口分布） ●リノベーション・コンバージョン物件分布
【T×W 脅威に備えて課題を克服すべき取組】	<ul style="list-style-type: none"> ●都心における用途バランス、グレードの多様性確保のための方策検討と実装化 ●誘導用途・グレード検討と地域交流拠点との機能分担の在り方検討による拠点間バランスの明確化 ●ライフ・ワークステージ/スタイルの多様性の実現に資する既存ストックの再活用、遊休不動産の活性化・流動化等への支援の方策検討・実装化 ●建替え更新による屋内空間や地下接続空間等、積雪寒冷地らしいパブリックライフを支える空間創出 ●多様性強化に資するエリア単位のまちづくり支援 ●都心における用途配分の適正化・複合化によるピークカットの実現等、都市空間の更新機運を活かした低炭素型まちづくりの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ●用途バランス、グレードの多様性確保のための方策検討と実装化 ●拠点間バランスの明確化（コンパクト+ネットワーク） ●既存ストックの再活用、遊休不動産の活性化・流動化等への支援の方策検討・実装化 ●積雪寒冷地らしいパブリックライフを支える空間創出 ●エリア単位のまちづくり支援 ●都市空間の更新機運を活かした低炭素型まちづくりの推進 	<p>カーボンニュートラル</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒低炭素型建築物の誘導促進 ⇒エネルギーアクションプランの展開 ⇒更新に併せた低炭素型まちづくりの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ●CASBEE、LEED等の認証建築物の分布状況 ●エネルギーアクションプランの実施成果

③都市活動

	SWOT クロス分析項目	指標につながるキーワード	都市基盤に係る都心まちづくりの成長管理のための指標の候補	指標検証のためのバックデータ
【S×O 強みを活かして好機に臨むべき取組】	<ul style="list-style-type: none"> ●開発機運を活かしたエリア単位でのまちづくりの促進・支援 ●開発機運やウォークアブル推進機運を活かした活用資源の創出と地域主体のストック活用の促進・支援 ●都心各エリアにおける地域主体のまちづくり機運の高まりとエリア特性、市民ニーズとのマッチングによる居場所づくりの促進・支援 ●市民の活動ニーズに応えるアクティビティ創出に向けた担い手のスキル・ノウハウのコラボレーションの促進・支援 	<ul style="list-style-type: none"> ●エリア単位でのまちづくりの促進・支援 ●活用資源の創出と地域主体のストック活用の促進・支援 ●地域主体のまちづくり機運の高まりとエリア特性、市民ニーズとのマッチングによる居場所づくりの促進・支援 ●多様なアクティビティ創出に向けた担い手のスキル・ノウハウのコラボレーションの促進・支援 	<p>エリアマネジメントの担い手の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒エリア単位でのまちづくりの促進 ⇒ニーズの多様化に対応する人材の発掘・連携 ⇒アクティビティの創出に向けた担い手のコラボレーションの促進 	<ul style="list-style-type: none"> ●都心における公共空間の活用、コンテンツ提供主体の賦存量 ●公共空間の活用・コンテンツ提供等の活動プログラム
【T×S 強みを活かして脅威に備えるべき取組】	<ul style="list-style-type: none"> ●エリアにおける高質化に向けたマネジメントの促進とエリア個性の差別化に資する空間活用の促進、エリア横断的な連携を通じた適正な役割分担の発揮 ●札幌・都心らしいワーク・ライフスタイル/バランスの実現のための官民連携によるストック形成と普及啓発の促進 ●空間活用、コラボレーションの促進による活力の可視化、市民ニーズの収集・反映等、都心のエリア価値向上に資するアクションを戦略的に構築・推進する仕組みづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ●エリアの高質化に資するマネジメントの促進とエリア個性の差別化に資する空間活用の促進、エリア横断的な連携を通じた適正な役割分担の発揮 ●官民連携によるビジネス・居住ストック形成と普及啓発の促進 ●活力の可視化、市民ニーズの収集・反映等、都心のエリア価値向上に資するアクションを戦略的に構築・推進する仕組み 	<p>活用資源の形成促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒活用資源の創出・活用の促進 ⇒市民ニーズに応じた居場所づくりの促進 ⇒空間・コンテンツ体験を提供する場における活動主体・体制構築 	<ul style="list-style-type: none"> ●活用資源のプロット ●公共空間活用に資する市民ニーズの把握 ●都心における公共空間の活用、コンテンツ提供主体の賦存量
【O×W 好機を活かして課題を克服するべき取組】	<ul style="list-style-type: none"> ●開発を通じた新たな公共空間の創出や市民の新たな価値観に対応するサービス形態の実践に向けた担い手の発掘・連携 ●開発を通じた場づくりに資する社会実験等、空間体験・コンテンツ体験の場や機会の創出のための活動主体・体制構築 ●就業支援・ワークスタイルの提案、シティプロモーション等、都心の経済活力の底上げに資する人材やコンテンツの構築に向けた専門家集団等との連携機会・場の構築 ●エリア単位のまちづくりを俯瞰的に捉え、エリア個性、機能・役割分担等、都心まちづくりとしての一体性・連携可能性を高める仕組みや場の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ●市民の多様な価値観に応える担い手の発掘・連携 ●空間体験・コンテンツ体験の場や機会の創出のための活動主体・体制構築 ●都心の経済活力の底上げに資する人材やコンテンツの構築に向けた専門家集団等との連携機会・場の構築 ●都心まちづくりとしての一体性・連携可能性を高める仕組みや場の構築 	<p>エリア横断的な活動の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒まちづくりの一体性・連携可能性を高める仕組み ⇒戦略的なアクション構築・推進の仕組み ⇒活力の可視化・ニーズの把握等から都心まちづくり戦略を構築する仕組み 	<ul style="list-style-type: none"> ●都心まちづくりに係る特定テーマに対するタスクフォース等の組成動向
【T×W 脅威に備えて課題を克服するべき取組】	<ul style="list-style-type: none"> ●エリアの既存の魅力・資源を活かした個性の強化とそれに資する新たな都市サービスの誘導による差別化・役割分担の明確化とその実装化のための官民連携の推進 ●ワークスタイルの多様化を支える就業環境の創出に向けた官民連携による誘導・支援策の構築と実装化 ●空間活用、コラボレーションの促進による活力の可視化、市民ニーズの収集・反映等、都心のエリア価値向上に資するアクションを戦略的に構築・推進する仕組みづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ●新たな都市サービスの誘導によるエリア間の差別化・役割分担の明確化とその実装化のための官民連携の推進 ●就業環境の創出に向けた官民連携による誘導・支援策の構築と実装化 ●都心のエリア価値向上に資するアクションを戦略的に構築・推進する仕組みづくり 	<p>活力創造に資する都市サービスの展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒ビジネス・居住ストックの形成促進 ⇒活力向上に資する人材・コンテンツのプロデュース体制づくり ⇒新たな都市サービスの誘導 ⇒就業環境の創出 	<ul style="list-style-type: none"> ●都心におけるビジネス機能の賦存量（事業所数 従業員数）

(まとめ)

指標設定の視点	分野	指標の候補	指標検証のためのバックデータ
骨格構造の成熟化	都市基盤	⇒象徴的骨格軸（駅前通・大通）の強化 ⇒交流拠点の機能・空間の高質化	●都市基盤整備動向 ●軸沿道更新動向 ●交流拠点における都市開発動向
公共交通の利便性	都市基盤	⇒多様な交通モードの結節性・利便性 ⇒公共交通の維持・強化 ⇒自動車交通の環境改善 ⇒域内の移動手段の多様化	●都心への公共交通アクセスネットワーク ●都心域における公共交通・移動サービスの敷設状況 ●自動車交通量・交通飽和度
都心のウォーカビリティ	都市基盤	⇒歩行空間・公共交通の利便性向上 ⇒居心地の良い居場所づくり（公共空間） ⇒地上地下の重層化 ⇒人を中心とした空間形成 ⇒ウォーカビリティを支える資源の強化	●歩道幅員分布 ●該当路線に係る歩行者流動量（滞留量） ●地下歩行ネットワーク分布 ●該当路線の地下接続建物分布 ●公共空間分布動向 ●ほこみち制度等の活用状況
	都市空間	⇒街の表と裏の空間におけるウォークアブルな機能・空間誘導 ⇒アイレベルへの機能誘導と居場所づくりの展開 ⇒積雪寒冷地型の公共空間創出 ⇒沿道機能・空間の空間誘導方策 ⇒重層的ネットワークの拡充 ⇒ステーキホルダー等の連携醸成	●主要動線上のウォークアブル推進動向 ●仲通りの利活用履歴 ●建物低層部の用途把握 ●屋内空間の公共空間整備並びに利活用履歴 ●地上地下空間の接続動向 ●公共空間等における活動主体及び属性（ステーキホルダー）の把握
札幌らしい都市景観	都市基盤	⇒札幌らしい都市景観の保全・強化 ⇒みどりづくり・ウォークアブルなまちづくりを通じた札幌らしい都市景観の保全・強化	●軸・拠点に係る緑視率
カーボンニュートラル	都市基盤	⇒既存ストックを活かした低炭素型まちづくり ⇒低炭素で災害に強い都心づくり	●エネルギーネットワーク普及状況 ●オンサイトプラントの整備動向
	都市空間	⇒低炭素型建築物の誘導促進 ⇒エネルギーアクションプランの展開 ⇒更新に併せた低炭素型まちづくりの推進 ⇒低炭素型の建築物更新（ストックの再活用）の促進	●CASBEE、LEED（新築・既存）等の認証建築物の分布状況 ●エネルギーアクションプランの実施成果
都心のレジリエンシー	都市基盤	⇒災害に強い都心づくり	●自立型エネルギーネットワークへの接続状況
都市活力の創出基盤	都市基盤	⇒回遊・消費活動環境の改善・向上 ⇒観光交流・回遊を支える人を中心とする環境・基盤の強化	●都心活力に係る市民の認識把握 ●市民の都心における消費・回遊行動の把握 ●都心における観光入込・行動の把握 ●都心における交流人口・関係人口数
都心リニューアル	都市空間	⇒機能更新の促進・適正配分 ⇒既存ストックの再活用・遊休不動産の活性化・流動化 ⇒一体性、連担性を生み出す仕組み	●建物更新度の測定 ●建物更新履歴分布
公共投資との連動したストック更新	都市空間	⇒骨格軸への肉付けに資する重層的ネットワークの拡充 ⇒軸沿道の民間開発喚起による官民連携の促進	●骨格軸構造に隣接する民間開発・更新プロット ●地下ネットワークへの接続状況
適切な用途分布・バランス	都市空間	⇒機能誘導と適正配分方策 ⇒市民活動のエリア偏重の回避 ⇒土地利用の適正化方策 ⇒都心と交流拠点の用途バランス	●土地利用バランス ●土地利用分布 ●市民活動の実態調査
ライフ・ワークステージ/スタイルの多様性	都市空間	⇒新たな就業環境の誘導とビジネス支援 ⇒都心居住の受け皿づくり ⇒既存ストックの有効活用によるライフ・ワークステージ/スタイルの多様性の獲得 ⇒住宅、業務施設等のエリアに応じた環境の提供 ⇒用途バランス・グレードの多様性確保策	●オフィス賃料・住宅販売価格動向 ●オフィス賃料・住宅販売価格帯分布 ●都心居住動向（人口分布） ●リノベーション・コンバージョン物件分布
エリアマネジメントの担い手	都市活動	⇒エリア単位でのまちづくりの促進 ⇒ニーズの多様化に対応する人材の発掘・連携 ⇒アクティビティの創出に向けた担い手のコラボレーションの促進	●都心における公共空間の活用、コンテンツ提供主体の賦存量 ●公共空間の活用・コンテンツ提供等の活動プログラム
活用可能な空間資源	都市活動	⇒活用資源の創出・活用の促進 ⇒市民ニーズに応じた居場所づくりの促進 ⇒空間・コンテンツ体験を提供する場における活動主体・体制構築	●活用資源のプロット ●公共空間活用に資する市民ニーズの把握 ●都心における公共空間の活用、コンテンツ提供主体の賦存量
エリア横断的な活動	都市活動	⇒一体性・連携可能性を高める仕組み ⇒戦略的なアクション構築・推進の仕組み ⇒活力の可視化・ニーズの把握等から都心まちづくり戦略を構築する仕組み	●都心まちづくりに係る特定テーマに対するタスクフォース等の組成動向
活力創造に資する都市サービス	都市活動	⇒ビジネス・居住ストックの形成促進 ⇒活力向上に資する人材・コンテンツのプロデュース体制づくり ⇒新たな都市サービスの誘導 ⇒就業環境の創出	●都心における事業所数・従業員数

